

# 1 調査結果の概要

## (1) 被害の概況

- ア 獣害は、H2 から H7 の 5 年間に大きく増加。  
さらに、H7 から 10 年間で明らかに被害が増加している。  
獣害全体では、ここ 3 年は、横ばい傾向で推移。
- イ 特にサル、クマ、イノシシ被害の増加が目立つ。
- ウ ニホンジカは H2 から H7 の 5 年間に急増したが、その後はあまり増えていない。

### 県内の農作物被害額の推移

(県農政部調査 単位：千円)

年度	H2	H7	H15	H16	H17	H17/H16	H17/H2
鳥類	511,728	538,107	378,733	314,535	293,047	93%	57%
獣類	133,140	415,452	541,103	545,405	495,699	91%	372%
サル	42,364	76,964	155,567	142,055	129,724	91%	306%
ニホンジカ	29,587	115,652	104,342	137,153	126,474	92%	427%
イノシシ	13,631	87,742	150,489	143,353	117,094	82%	859%
クマ	5,526	25,975	47,674	44,657	39,864	89%	721%
その他	42,032	109,119	83,031	78,187	82,543	106%	196%
合計	644,868	953,559	919,836	859,940	788,746	92%	122%

## 《参考》

### 特定鳥獣保護管理計画における生息頭数の推定等

#### シカ

1 期(H12 ~ H17)	2 期(H18 ~ H22)
推定生息数 31,711 ± 11,749 頭 (関東山地 3,397、八ヶ岳 8,657 南アルプス 18,858)	同 61,600 頭 (関東山地・八ヶ岳 23,000、 南アルプス 30,300、その他)
年間捕獲数 (H12) 3,668 頭 (狩猟 1,953、有害捕獲 1,715)	同 (H17) 6,399 頭 (狩猟 2,747、有害捕獲 3,652)
年間捕獲目標数 6,700 頭	年間捕獲目標数 8,300 頭

#### サル

県単計画 (H12)	1 期 (H16 ~ H19)
個体群 約 6000 ~ 9000 頭	個体群 約 6500 ~ 10000 頭
群数 約 110 ~ 160 群(10 ~ 100 頭/群)	群数 約 120 ~ 180 群(10 ~ 100 頭/群)

### ツキノワグマ

1期 (H14～H19)	2期 (H19～H24)
推定生息数 1,325～2,496 頭 中間値 1,913 頭	推定生息数 1,867～3,666 頭 中間値 2,771 頭

### カモシカ

H12	H16
推定生息数 9,340 ± 1,630 頭	推定生息数 8,630 ± 2,938 頭



生坂村

イノシシに入られ、全滅となった水田



大町市

調査中にも一群が見かけられた  
2 / 2 1